

EU Indicators

発表日:2021年7月1日(木)

欧州経済指標コメント:6月ユーロ圏消費者物価

～一時的な上昇鈍化、観光再開の影響は限定的～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

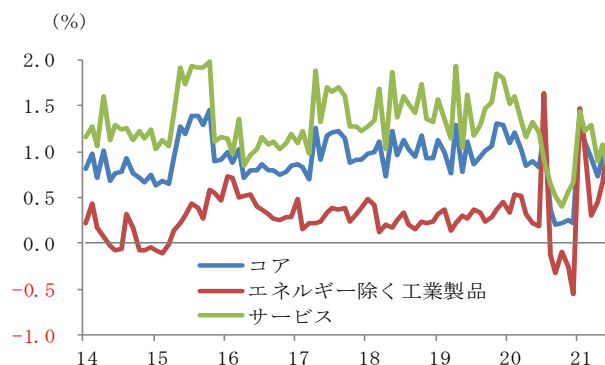
- 6月30日に発表された6月のユーロ圏の消費者物価の速報値は、前年比+1.9%と前月の同+2.0%から上昇率がやや鈍化した。速報段階で入手可能な内訳は、食料・アルコール・たばこ（前月：同+0.5%→今月：同+0.6%）の上昇率がやや加速した一方、エネルギー（同+13.1%→同+12.5%）とコア（同+1.0%→同+0.9%）の上昇率が鈍化した。コアの詳細は16日発表の速報値を待たねばならないが、エネルギーを除く工業製品（同+0.7%→同+1.2%）が加速した一方、ウェイトが大きいサービス（同+1.1%→同+0.7%）の上昇率鈍化の影響が上回った。
- 国別の内訳は、フランス（同+1.8%→同+1.9%）とイタリア（同+1.2%→同+1.3%）が加速の一方、ドイツ（同+2.4%→同+2.1%）が鈍化。スペイン（同+2.4%→同+2.4%）は不変。
- 都市封鎖によるセール時期のズレや小売店舗閉鎖で価格捕捉ができなかったなど、物価の攪乱要因は多い。経済活動再開による供給不足が工業製品価格の上昇につながっているが、サービス価格の上昇圧力は今のところ限定的。観光シーズン到来を前にした行動制限緩和がサービス需給の逼迫につながるかどうか注目。来月以降は、エネルギー価格の押し上げが続くなか、昨年後半のドイツの付加価値税率の時限引き下げの反動増に加えて、都市封鎖の間の値引き販売の一巡や経済活動再開による物価の押し上げ圧力が働くことから、上昇率が再加速する公算が大きい。

■ユーロ圏:消費者物価（前年比）



注:コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏:コア消費者物価（前年比）



注:コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価 (%)

	2020				2021				2021											
	3Q	4Q	1Q	2Q	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月						
消費者物価 (前期比)	0.0	0.1	1.3	0.5	-0.0	0.1	0.1	0.1	1.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.4						
消費者物価 (前年比)	-0.0	-0.3	1.1	1.8	-0.3	-0.3	-0.3	-0.3	0.9	0.9	1.3	1.6	2.0	1.9						
コア消費者物価 (前期比)	0.6	0.2	1.2	0.9	0.2	0.2	0.2	0.2	1.4	1.1	0.9	0.7	1.0	0.9						
食料/アルコール/たばこ (前年比)	1.8	1.7	1.3	0.6	1.8	2.0	1.9	1.3	1.5	1.3	1.1	0.6	0.5	0.6						
食料 (前年比)	1.4	1.4	0.8	-	1.4	1.7	1.5	0.9	1.0	0.8	0.7	0.0	0.1	-						
アルコール (前年比)	0.0	-0.2	0.4	-	0.0	-0.2	-0.0	-0.3	0.3	0.5	0.4	0.6	0.2	-						
たばこ (前年比)	6.2	5.6	5.1	-	6.0	6.0	5.4	5.4	5.4	5.6	4.3	4.4	3.8	-						
エネルギー (前年比)	-8.1	-7.8	-0.6	12.0	-8.2	-8.2	-8.3	-6.9	-4.2	-1.7	4.3	10.4	13.1	12.5						

注:消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所: Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

